

雇人ノ私
犯ニ對スル
責任

The liability of masters for the torts of their servants.

第五章 雇人ノ私犯ニ對スル雇主ノ責任

此章ニ於テハ雇人ノ行ヒタル私犯ニ對シ雇主其責ヲ負擔スヘキヤ否
 ナ規定スル法律規則ヲ講述セントス抑モ自己ノ所爲ニアラサレハ其
 責ニ任ゼストハ法律上ノ一大原則ナリト雖トモ他人ヲシテ己レニ代リ
 事ヲ爲サシムルハ自カラ爲シタルト同一ナルヲ以テ古來ヨリ傳ハレ
 ル法語ニ他人ヲシテ爲サシメタル事柄ハ自カラ爲シタルモノナリト
 云ヘルコトアリテ代理法中代理人ノ所爲ニ付キ本人其責ニ任スルハ
 此法語ニ基ヒシタルモノト知ラサルヘカラス而シテ此章ニ講述セン
 トスル所ノ雇人ノ私犯ニ對スル雇主ノ責任モ畢竟其源ヲ此法語ニ開
 キタルコト又固ヨリ明ダシ茲ニ所謂雇人トハ敢テ家僕ノミニ限ルノ
 意ニアラスシテ汎ク雇人ヲ總稱スルコトナレハ代理人ト云フトモ更ニ
 異ナルコトナシサレハ雇主雇人ノ語ヲ改メテ代理人本人トナスモ差

支ヘナキモ此章ニ於テハ普通ニ所謂雇主ノコトニ關係セル場合多キ
 ナ以テ斯クハ雇人雇主ノ文字ヲ用ヒタルナリ然レトモ普通ニ所謂雇
 人ナレハトテ矢張代理人ノ一種類ナルカ故ニ其適用スヘキ法規原則
 ニ至テモ概テ相同シトナス夫レ然リ然レトモ傭人ノ所爲ニ付テハ悉
 ク雇主カ其責ニ任スト云フニハアラスシテ自カラ其中ニ制限アルコ
 ト、知ルヘシ因テ今此章ヲ二節ニ分チ雇人ノ私犯ニ對シ本人其責ニ
 任スル場合ト任セサル場合ト示サントスルナリ

第一節 雇人ノ私犯ニ對シ雇主其責ニ任ス

ヘキ場合

雇人ノ私犯ニ付キ第三者被害者ニ對シ雇主其責ニ任スヘキ場合ニ三
 種アリ退次之レヲ講明スヘシ
 一、雇主豫メ雇人ニ命シテ私犯タル所爲ヲナサシメタル場

雇人ノ私犯ニ對シ
 雇主其責ニ任スヘキ場合

合

雇主豫メ雇人ニ命シテ私犯タル所爲ヲナサシメタル場合ニ於テ第三者ニ對シ雇主其責ニ任セサルヘカラサルノ理由ハ今更之レテ喋々セサルモ前ニモ述ヘタルカ如ク他人ヲシテ爲サシメタル事柄ハ自カラ爲シタルモノナリト云ヘル法語ニ基ヒスルコト明々白々タリ

二、雇人ノ私犯タル所爲ヲ雇主ニ於テ追認シタル場合

雇人若シ權利外ノ所爲ヲナシ他人ニ損害ヲ加ヘ又ハ他人ノ權利ヲ傷ケタル後雇主タル者其所爲ヲ追認スルトキハ其所爲ハ即チ雇主ノ命ニ從テ爲シタルモノト同一ノ結果ヲ生シ雇主ハ其由テ生シタル損害賠償ノ責ニ任セサルヘカラサルナリ夫レ然リト雖トモ雇主ノ追認ハ如何ナル場合ニ於テモ雇人ノ所爲ヲシテ雇主ノ所爲トナスノ効アリヤト云ハ、決シテ然ルニアラス其追認ヲシテ有効ナラシメノニ

ハ○雇○人○ノ○所○爲○ハ○雇○主○ノ○爲○メ○ニ○爲○シ○タ○ル○モ○ノ○ニ○非○サ○ル○ヘ○カ○ラ○サ○ル○ナ○リ
 故○ニ○雇○主○ニ○於○テ○一○タ○レ○雇○人○ノ○所○爲○ヲ○追○認○シ○タ○ル○已○上○ハ○其○所○爲○ハ○假○令
 雇○主○ノ○利○益○ト○ナ○ラ○ス○シ○テ○或○ハ○却○テ○其○損○害○ト○ナ○ル○モ○尙○ホ○追○認○ノ○効○ア○リ
 テ○雇○主○其○責○ニ○任○セ○サ○ル○ヘ○カ○ラ○ス○然○ル○ニ○茲○ニ○一○ノ○注○意○ヲ○促○サ○ル○ヘ○カ
 ラ○サ○ル○ハ○他○ニ○ア○ラ○ス○雇○人○ノ○私○犯○ニ○付○キ○テ○ハ○雇○主○ハ○其○之○レ○ヲ○追○認○ス○ル
 ト○否○ト○ニ○拘○ラ○ス○其○責○ニ○任○ス○ヘ○キ○ハ○次○項○ニ○述○ヘ○ン○ト○欲○ス○ル○所○ナ○ル○ニ○此
 項○ニ○於○テ○ハ○雇○主○カ○雇○人○ノ○私○犯○ニ○對○シ○其○責○ニ○任○ス○ル○ト○キ○ハ○恰○モ○其○所○爲
 ノ○追○認○ヲ○要○ス○ル○カ○如○ク○見○ユ○ル○是○レ○ナ○リ○然○レ○ト○モ○決○シ○テ○斯○ル○意○ニ○ハ○ア
 ラ○サ○ル○也○然○ラ○ハ○則○チ○茲○ニ○所○謂○追○認○シ○タ○ル○場○合○ト○ハ○如○何○ナ○ル○場○合○ヲ○指
 ス○カ○ト○云○ハ○、○假○令○ヘ○ハ○甲○者○ア○リ○豫○メ○乙○者○ヨ○リ○委○任○ヲ○受○ケ○ス○シ○テ○該○乙
 者○ノ○爲○メ○ナ○リ○ト○揚○言○シ○自○己○ノ○爲○メ○ニ○ア○ラ○サ○ル○コト○ヲ○ナ○シ○其○際○ニ○私○犯
 タ○ル○所○爲○ノ○ア○リ○タ○ル○場○合○ニ○於○テ○乙○者○若○シ○後○ニ○甲○者○ノ○所○爲○ヲ○追○認○ス○ル

トキハ豫メ委托シタルト同シク其所爲ハ直チニ乙者ノ所爲トナルカ
如キ場合ヲ云フナリ故ニ語ヲ換ヘテ之レヲ云ヘハ雇人權限外ノ事柄
ナシテ其際ニ私犯タル所爲ノアリタルトキチ云フナリ諸君宜シク
注意スヘシ

三、雇人ノ爲シタル所爲ハ雇主ノ命シタルニモアラス又後
日雇主ノ追認シタルモノニモ非サル場合

雇人ノ爲シタル所爲ハ雇主ノ命シタルニモアラス又後日雇主ノ追認
シタルモノニモ非サル場合ニ雇主ガ其責任ヲ負フトハ如何ナル場合
ニアルヤト云ハ、

甲、雇主ノ委任シタル事柄ヲ行フニ際シ雇人ノ不注意ヨリ他人ニ
損害ヲ蒙ラシメタル時

雇主雇人チシテ或ル事柄ヲ行ハシメタルニ其事柄ハ適法ナルモ雇人

ハ之レヲ行ヘル方法又ハ狀況宜シキヲ得スシテ私犯タル所爲アリタルトキニハ雇主其責ニ任セサルヘカヲサルナリ例ヘハ馭者其雇主ノ馬車ヲ不注意ニ疾驅シテ他人ヲ傷ケ又ハ野獸ヲ獵ル爲メ雇ハレタル者兔ヲ擊タントシテ傍人ヲ殺傷シ若クハ建築ノ爲メ雇ハレタル者注意ナ欠キ屋上ヨリ瓦石ヲ落シ他人ヲ傷ケタル等ノ如キ場合ニ於テハ被害者ハ雇主ニ對シ損害賠償ヲ請求スルヲ得ヘシ蓋シ雇主ハ雇人ノ職務中ニ起ルヘキ所爲ヨリ生セル損害ニ付テハ公衆ニ對シテ自カラ擔保セサルヘカヲサルカ故ナリ

乙、雇主ノ委任シタル事柄ヲ行フニ際シ雇人故意ニ他人ニ損害ヲ蒙ラシメタル時

雇人雇主ノ委託セル事柄ヲ行フノ際雇主ノ利益ヲ計リナシタルノ所爲ハ假令ヒ其方法雇主ノ命令ニ違フモノナルモ其所爲ニシテ委託權

限内ニアリ得ヘキモノナルトキハ雇主其責ニ任セサルヘカラスルナリ然レトモ唯ニ方法ノミナラス其事項素ヨリ不法ナルトキハ雇主其責ニ任セス例ヘハ甲乙兩所間ノ往復ヲ業トセル馬車會社ノ馭者雇主ナル會社ノ命令ニ背キテ途上原告馬車ノ往來ヲ妨ケント欲シ故サラニ其往來ヲ横切リタリ於是原告ハ會社ニ對シ要償ノ訴ヘテ起シタルニ馭者ノ所爲若シ其雇主ノ用ヲ達シ居ル時ニアリテ而シテ該雇主ノ爲メ最モ利益アリト認メテ行ヒタルモノナレハ會社ハ其責ニ任セサルヘカラス畢竟會社責任ノ有無ハ馭者ノ所爲其服務中ニアルヤ否ニ由ルモノニシテ假令ヒ會社カ馭者ニ斯クノ如キ所爲ヲ禁シタルコトアルモ決シテ其責ヲ免ル、能ハスト判決サレタリ若シ夫レ雇主ヨリ斯ル内論ヲ雇主コト下シ置キタルヲ以テ雇主其責任ヲ免ル、コトヲ得ルモノトセハ雇主ハ殆ト其責任ヲ免レサル場合ナキニ至ルヘシ故ニ

斯ル内論ハ第三者ニ對シテハ更ニ其効ナキナリ然レトモ若シ雇人ニ
 シテ雇主ノ利益ノ爲メニスルニアラス自己ノ私情ヨリスル所爲ニ及
 ヒタルトキハ雇主其責ニ任セサルハ勿論ナリ又例ヘハ甲者アリ瀛車
 ニ乘リ某所ニ赴ント欲シテ鐵道線路ニ到リ誤テ他ノ列車ニ乘レリ於
 是會社ノ役員甲者ヲ捕ヘ暴ニ車外ニ引出シタレハ甲者爲メニ傷ヲ負
 ヒタリ然ルニ會社ノ定規中ニハ斯ル乗客ヲ引出スコトヲ禁シ又乗客
 タハ大切ニ取扱フヘキコトヲ命セリサレハ右ノ如キ場合ニ於テ役員
 ハ會社ノ禁シ居ル事ヲ行ヒタルモノナレハ該會社ハ其責ニ任セサル
 モ可ナルカ如シト雖トモ列車ヲ誤マリタル乗客ヲ穩カニ乘リ易ヘシ
 ムルハ其權内ニアルコトナルニ不法ノ腕力ヲ用ヒシハ則チ其權ヲ暴
 用セシモノナルヲ以テ會社ハ其責ヲ免ル能ハサルカ如キ是レナリ
 己上論述シタル所ハ則チ雇人ノ私犯ニ對シ雇主其責ニ任スル場合ノ

大要ヲ示シタルモノナルカ右ノ内第一及ヒ第二ノ場合ハ前ニ述ヘタル他人ヲシテナサシメタルノ所爲ハ自カラ爲シタルナリト云ヘル法語ニ基キテ雇主ニ其責ヲ歸スル譯ナレトモ第三ノ場合ニ至テハ此法語ヲ適用スヘカラサルヲ以テ別ニ理由ノ存スルモノアレトモソハ諸君カ代理法ニ於テ詳カニ了知セラレタル所ナルヘキカ故ニ茲ニ重復チ省キテ講明セサルヘシ之レヲ要スルニ雇主ノ自カラ雇入レタル者タルト又雇主ヨリ雇入レノ任ヲ受ケタル者ノ雇入レタル者ナルトチ問ハス苟モ雇主ノ事務ヲ行フニ際シ其服務ノ範圍内ニ於テ或ル所爲ヲナシ其所爲私犯タルニ於テハ不注意ヨリ起リタルト又故意ニ生シタルトニ論ナク雇主自カラ其責ニ任セサルヘカラサルナリ然レトモ受負人復受負人其他獨立ノ職業ヲ以テ雇ハル、者ハ雇人トシテ論スヘキ限ニアラス故ニ家僕

奴婢ハ勿論手代番頭ヨリ會社ノ役員ノ如キ総テ雇主ノ自カラ役ヲ命
 シ直接又ハ間接ニ監督セル者ハ雇人ニ外ナラサルナリ例ヘハ船主船
 長ヲ雇ヒ其船長ヲシテ水夫ヲ雇ヒ入レシムレハ水夫ハ則チ船主ノ雇
 人ニシテ船主タル者ハ水夫ノ錯誤若クハ暴行ヨリ起レル損害ニ對シ
 其責ニ任セサルヘカラサルカ如キ是レナリ
 夫レ然リ然リト雖トモ雇主カ命シタルコトモ又追認シタルコトモナ
 キ雇人ノ所爲ニ付キ雇主其責任ニ任スヘシト云ヘル法則ハ諸君カ代
 理法ニ於テ學ヒ得タルカ如ク素ト奴隸ノ所爲ニ付其主人ヲ檢束スル
 爲メニ設ケタル所謂蠻俗ノ遺風ニシテ啻ニ法律上ノ假想ヲ以テ雇主
 雇人ノ間ニ限リ今日ニ尙ホ行ハルモノナレハ受負人復受負人其他
 獨立ノ職業ヲ以テ雇ハルモノニハ此規則チ及ホスヘカラサルナリ
 故ニ例ヘハ甲者アリテ乙者ナル受負人チシテ或ル工事ヲ負擔セシメ

たりしニ乙者其工事ヲ營ムノ失不注意ヨリ丙者ノ土地ニ水害ヲ加ヘ
 たり然レトモ乙者ハ元來受負人ノ資格ヲ有スルモノナルカ故ニ雇人
 ナ以テ論スヘカラサレハ甲者ハ丙者ニ對シ損害ヲ賠償スルノ責ナキ
 ナリ又甲者アリ馬車ヲ有スレトモ之レヲ引カシムヘキ馬ナク又馭者
 ナキナ以テ馬車營業者ヨリ馬ヲ借り馭者ヲ雇ヒテ他所ニ赴キシニ途
 中馭者ノ不注意ヨリ路傍人ニ傷ヲ負ハシメタリ此場合ニ於テ甲者ハ
 賠償ノ責ニ任セサルモノト判決セリ何トナレハ馭者ハ甲者ノ一時雇
 ヒタル人ニ外ナラスト雖トモ凡ソ馬車營業者ハ所謂獨立ノ營業者ナ
 スモノニシテ其雇人タル馭者カ甲者ノ馬車ヲ馭スルニ當テハ甲者ノ
 敢テ指揮監督スヘキモノニ非ス故ニ該馭者ハ甲者ノ雇人ナ以テ論ス
 ヘカラサルナ以テ右ノ場合ニ於テ第三者ヨリ損害ヲ要求セント欲セ
 ハ眞正ノ雇主ナル馬車營業者ニ對シテ訴ヘテ起スヘキナリ夫レ然リ

而シテ、受負人ノ行ヒタル私犯ノ責ヲ雇主ニ負ハシメサルノ理由ハ、又
 受負人ヲシテ復受負人ノ行ヒタル私犯ノ責ヲ免カレシムルナリ例ヘ
 ハ某鐵道會社アリテ甲者ヲシテ鐵路ノ布設ヲ受負ハシメタリ然ルニ
 甲者ハ復タ乙者ニ線路ノ河上ニ鐵橋ヲ架スルコトヲ受負ハシメ乙者
 モ又架橋ノ爲メ木閣^{アシガ}ヲ設クルコトヲ甲者ニ受負ハシメタリ而シテ木
 閣ノ構造堅固ナラスシテ丁者爲メニ損害ヲ蒙リタレトモ丁者ハ丙者
 ニ對シテ起訴ノ權ヲ有スルニミコシテ甲者又ハ乙者ニ對シテハ其權
 ナキモノトス蓋シ甲己丙ハ皆ナ受負人ニシテ雇人ニ非サルニ由ルナ
 リ
 右陳述セルカ如ク受負人復受負人其他獨立ノ職業ヲ以テ雇ハル、者
 ハ普通ノ雇人ヲ以テ論スヘカラスト雖トモ又此等ノ者ノ行ヒタル私
 犯ニ對シ雇主ノ其責ニ任セサルヘカラサル場合三ツアリ

甲、雇主ニ於テ自カラ受負人ヲ監督シ第三者ニ損害ヲ蒙ラシメタル所爲ニ干與シタル時

乙、受負人ナシテ爲サシムル事業素ヨリ違法ノ事柄ナル時

丙、受負人ナシテ行ハシムル事業ヲ爲スニ付キ法律上別ニ雇主ニ

課セル義務アルニ受負人其義務ヲ盡クサル時

是レナリ尙ホ例ヲ示シテ之レヲ詳カニセンニ被告溝渠ヲ作ラント欲シ某受負人ナシテ其工事ヲ受負ハシム然ルニ受負人ノ雇人泥土ヲ街路ニ棄出シタルニ由テ原告爲メニ損害ヲ蒙リタリ其後被告ハ原告ヨリ起訴セラル、ニ當テ被告ハ其泥土ヲ除去センコトヲ約セリ其約ヲ履行セント欲シ受負人ナシテ之レヲ取除カシムル爲メ別ニ賃錢ヲ拂ヒ渡シタルニ受負人ハ尙ホ之レヲ怠リタリ此場合ニ於テ被告ハ其責ニ任スヘキモノト判決セラレタリ何トナレハ被告ノ雇ヒタルハ受負

人ナレトモ被告ハ唯ニ其事業ヲ受負ハシムルニ止マラス自カラ之ヲ
監督シ其事ニ干與シタルヲ以テナリ又甲者アリ受負人ヲシテ街路ニ
溝渠ヲ鑿堀セシメタルニ受負人ノ雇人土石ヲ路傍ニ堆積セリ然ルニ
乙者通行ノ際其土石ニ躓キ負傷セリ此場合ニ於テハ甲者其責ニ任ゼ
サルヘカラス何トナレハ街路ニ溝渠ヲ鑿ツハ法律ノ許サ、ルコトダ
ルニ甲者ハ正當ノ權利ヲ得ルコトナクシテ紊リニ受負人ヲシテ之レ
ヲ鑿堀セシメタルモノナレハナリ又例ヘハ議院ノ條例ニ因テ被告ハ
某河上ニ橋ヲ架スルコトヲ許サレタリ然ルニ其之レヲ架スルニハ其
構造ヲ充分堅固ニナスヘキ義務アリトス被告ハ受負人ヲシテ其橋ヲ
架設セシメタリシニ構造堅固ナラスシテ原告爲メニ損害ヲ蒙レリ此
場合ニ於テハ被告ハ其責ニ任セサルヘカラス何トナレハ被告ハ現ニ
構造ヲ堅固ニスヘキ義務アルニ受負人ノ其義務ヲ盡クサル所アレ

雇人ノ私
犯ニ對シ
雇主其責
ニ任セサ
ル場合

ハナリ

凡ソ雇主カ雇人ノ所爲ニ付キ其責ニ任スヘキハ概テ已上陳述シタル
カ如シ依テ是レヨリ第二節ニ移ルヘシ

第二節 雇人ノ私犯ニ對シ雇主其責ニ

任セサル場合

前節ニ於テ雇人ノ私犯ニ付キ第三者ニ對シ雇主其責ニ任スルハ其雇
人ノ所爲ノ雇主ノ命令ニ由リタルヤ否ニ非ラスシテ唯其損害ノ生シ
タル當時ニ雇人ハ其服務ノ區域内ノコトヲ爲シ居リシヤ否ニ因テ定
マルトノコトヲ述ヘタリ故ニ雇人雇主ノ命令セル服務ノ區域外ニ於
テ非行ヲナシタルトキハ雇主其責ヲ負ハサルハ自カラ明瞭ナリ今雇
人ノ私犯ニ對シ雇主其責ニ任セサル場合ヲ示セハ概テ左ノ如シ
一 雇主自カラナスノ權ナキ所爲ヲ雇人ノ爲シタル時

私犯法

九十五

凡ソ自カラ爲スノ權利ナキ事柄ハ他人チシテ之レチ爲サシムルコト
ヲ得サルハ固ヨリ法理ノ然ラシムル所ナルカ故ニ此場合ニ於テ反對
ノ證據ノアラサル限りハ雇主其責ニ任セサルナリ例ヘハ某鐵道會社
ノ役員原告ノ馬チ運送シタルニ其賃金チ未ダ仕拂ハサルモノト誤認
シテ原告チ拘留シタリ於是原告ハ會社ニ對シ起訴セリ此場合ニ於テ
會社役員ノ原告チ拘留シタルハ則チ法律ノ許サル所ニシテ違法ノ
所爲ナリ然レハ會社カ斯ル不法ノ事項チ役員ニ委任スヘキ權ナキチ
以テ會社ハ原告ノ請求ニ應スヘキ義務ナキナリ但シ會社若シ運賃チ
仕拂ハサル者チ拘留スルノ權チ有セルモノナルトキハ其役員誤テ他
人チ捕ヘ運賃チ仕拂ラハサル者ト認メテ拘留シタルニ於テハ是レ則
チ役員ノ錯誤ニシテ其服務ノ範圍内ニアルモノナレハ會社ハ其責ニ
任セサルヘカラサルナリ

二、雇人其自用ヲ達スル時

雇人ニシテ若シ其自用ヲ達シ居ル時ニナシタル所爲ニ付テハ假令雇主ノ用ヲ達シ居ルト全時ニテモ又其前後ニテモ都テ雇主ハ其責ニ任セサルナリ例ヘハ雇人乙ハ雇主甲ノ馬ニ乘リテ雇主ノ用事ヲ辨シタル後朋友ノ許ニ至ルノ途中ニテ他人ニ傷ヲ負ハシメ又ハ雇主ノ用事ヲ辨スルノ前擅ニ支道ニ詣リテ第三者ニ損害ヲ蒙ラシメタル時ノ如キ皆テ雇主其責ニ任セサルナリ

三、雇主臨時其雇人ヲ他人ニ貸シ借主自カラ雇人ヲ指揮監督スル時

此場合ニ於テ雇人其服務中私犯ヲ行フコトアルモ本雇主ハ其責任ニ任セサルモノトスソハ敢テ他人ノ爲メニ服役スルト云フ事ノミヲ以テ雇主ニ其責ナシト云フニハアラス畢竟借主カ其雇人ヲ指揮監督ス

ルノ權ヲ有シ本雇主ニハ此權ナキヲ以テナリ故ニ例ヘハ被告某會社
 ハ甲者ヲシテ一ノ工事ヲ受負ハシメ又該工事ノ用ニ供スル爲メ蒸氣
 器械ト會社ノ雇人タル工師二名ヲ甲者ニ貸シタリ而シテ其工事ハ甲
 者ニ於テ總テ之レヲ監理セリ然ルニ就業ノ際該工師ノ不注意アリテ
 甲者ノ使役人ニ負傷セシメタルヲ以テ該被害者ハ工師ノ本雇主即チ
 會社ニ對シ要償ノ訴ヲ起シタレトモ會社ハ賠償ノ責ナシト判決セラ
 レタリ是レ該工師ハ元來會社ノ雇人ニ外ナラスト雖トモ損害發生ノ
 當時ニ在テハ甲者ノ使役ニ從事シ其監督ヲ受ケシヲ以テナリ

四、雇主ノ允可ナキニ雇人ニ於テ恣ニ其職務上ノ事ヲ第三者ニ
 委託シタル時

雇主ノ允可ナキニ雇人ニ於テ恣ニ其職務上ノ事ヲ第三者ニ委託シタ
 ル時ハ此第三者ノ行ヒタル私犯ニツキ雇主ハ其責ニ任セサルリ抑々

モ雇主カ雇人ノ行ヒタル私犯ニ對シ其責ニ任スルハ此兩者ノ間所謂
雇主雇人ノ關係アルカ故ナリサレハ豫メ雇主ヨリ他人ヲ雇入ルヘキ
コトヲ允可サレタル雇人他人ヲ雇ヒ雇主ノ事務ヲ執ラシメタルニ其
他人若シ私犯ヲ行ナヘハ損害賠償ノ責ハ雇主ノ負擔ニ歸スヘキモノ
ナリト雖モ雇人若シ雇主ノ允可ナクシテ恣ニ他人ヲ雇ヒタル場合ニ
於テ該他人ノ行ヒタル私犯ハ假令ヒ雇主ノ利益ヲ謀リ雇主ノ事務ヲ
執ルノ際ニ發シタルモノナルモ雇主ハ決シテ其責ニ任スヘキ理由ナ
キナリ何トナレハ雇主ト雇人ノ雇入レタル他人トノ間雇主雇人ノ關
係ナキヲ以テナリ例ヘハ雇主書ヲ馬丁ニ遺リ某所ニ馬車ヲ廻スヘキ
コトヲ命シタルニ馬丁ハ恣ニ甲者ヲシテ之レヲ運ハシメタリ然ルニ
甲者粗忽ノ所爲ヲ以テ途上乙ヲ傷ツケリ此場合ニ於テハ雇主ハ乙者
ニ對シテ責任ナキナリ是レ雇主ハ馬丁ニ他人ヲ雇フヘキコトヲ允可

シタルニアラス畢竟馬丁ノ甲者ヲシテ自己ニ代リ馬車ヲ運ハシメタルハ所謂權限外ノ事ニシテ雇主ト甲者トノ間更ニ雇主雇人ノ關係ヲ生セサレハナリ然レトモ馬丁若シ甲者ヲ伴ヒ某所ニ往クノ途中甲者ニ手綱ヲ委子タルニ甲者馭術ヲ誤マリテ乙者ニ損害ヲ加ヘタルカ如キ場合ニ於テハ雇主其責ニ任セサルヲ得ス畢竟斯クノ如キ場合ハ馬丁ノ職務ヲ行フニ際シ他人ニ手綱ヲ委子タルニ則チ其職務ノ執行中ニ失錯アルモノニシテ敢テ服務外ノ所爲ナリト云フヲ得サレハナリ右陳述シタル所ハ雇人ノ私犯ニ付キ第三者即チ被害者ニ對シテ雇主カ責任ヲ負フヘキヤ否ヲ示シタルモノナリトス然ルニ茲ニ又譏明ヲ要スルノ一事アリソハ他ナラス雇人ノ損害ヲ蒙リタル場合ニ於テ雇主其責ニ任セサル可カラサルヤ否ノ一事是レナリ因テ之レヲ第五項トナシ左ニ畧述スヘシ

二七ノ二十九

五、同僚雇人等職務上共ニ事ヲ執ルニ際シ一雇人他ノ雇人ノ爲

メニ損害ヲ蒙リタル時

此場合ニ於テハ雇主ハ其責任ヲ帶ヒサルノ制規ナリトス抑モ茲ニ同僚雇人トハ二人以上ノ人同一ノ雇主ニ雇ハレ同一ノ監督ヲ受ケテ共ニ雇主ノ事業ニ服従スルモノヲ云ヒテ各々事業ノ區分及ヒ場所ヲ異ニスル等ハ之レヲ論セサルナリ此等ノ雇人等共ニ各々其事業ニ従事スルノ際一人ノ不注意詐偽或ハ其他ノ非行ヨリシテ他ノ雇人ニ損害ヲ蒙ラシムルトモ起害ノ所爲ニシテ素ト服務ノ範圍内ニアルモノタレハ雇主ハ其損害ヲ賠償スルノ責ナキナリ尤モ起害者タル雇人其職務ニ適セサル者ナルトキハ格別ナリトス例ヘハ被告一ノ鑛山ヲ所有セリ其雇人タル坑夫坑道普請中不注意アリテ天井ノ坑石脱落シテ他ノ坑夫爲メニ負傷シタル場合ノ如キ又家屋建築ニ従事セル雇人ノ中

私犯法

百一

一雇人ノ不注意ニ由テ重量ノ物品屋上ヨリ落チ來リタルニ其下ニ在
 リテ共ニ其事ニ從事セシ同僚雇人ヲ負傷セシメタル場合ノ如キ皆ナ
 其爲害者タリシ雇人ニシテ其職務ヲ盡クスニ適セサルモノタルノ證
 跡アルニアラサレハ雇主ハ被害者タリシ雇人ニ對シテハ損害賠償ノ
 責ナキナリ
 抑モ雇人其服務ノ範圍内ニ於テ或ル所爲ヲナシ他人ノ權利ヲ傷ケ又
 ハ他人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ雇主其責ニ任スヘシトノコトハ既ニ
 反覆述ヘタル所ナリ然レトモ凡ソ同僚雇人ト共ニ或ル事業ニ從事セ
 ル者ハ自己ノ側ニ發生スヘキ事變ハ自ラ之レヲ視察スルニ易キモノ
 ナレハ其事變ニ付キ自己ノ一身ヲ防衛スルニハ或ハ其場所ニ不在ノ
 コトアルヘキ雇主ヨリハ寧ロ便利ノ地位ニ居ルモノナリト推測スル
 コトヲ得ヘシ是レ則チ同僚雇人等職務上共ニ事ヲ執ルニ際シ一雇人

他ノ雇人ノ爲メニ損害ヲ蒙リタルトキハ雇主其責ニ任セスト云ヘル
 規則アル所以ナリ夫レ然リ而シテ前ニモ述ヘタルカ如ク此規則ヲ適
 用スルニ於テハ何モ爲害者タリシ雇人ト被害者タリシ雇人ト同一若
 クハ類似ノ職務ニ従事セルヲ要セサルナリ故ニ例ヘハ馬車ノ馭者ト
 車掌并ニ船舶ノ漕手ト舵手トノ如キハ皆ナ職務上共ニ事ヲ執ル同僚
 ノ雇人ナリト謂ツヘシ之レヲ要スルニ一ノ雇人ニシテ職務上不注意
 アレハ他ノ雇人ニ對シテ損害ヲ惹起スヘキ關係アル職務ニ従事シ其
 雇人ハ自然其危険ヲ豫想スルコトヲ得隨テ給料ノ多寡ヲモ其思量中
 ニ含蓄スルトキハ則チ此規則ヲ適用シテ同僚雇人ヲ以テ論スヘキモ
 ノトスサレハ鐵道馬車往來ノ線路ヲ掃除スルカ爲メニ雇ハレタル者
 ニシテ該馬車ノ御者ノ不注意ヨリ馬車ニ觸レ負傷スルコトアルモ馭
 者ノ雇主タル會社ニ對シテ要償ノ權ナカルヘシ何トナレハ馬車ノ線

路ヲ掃除スルモノハ其職務上馬車ニ觸ル、カ如キ危険ヲ豫想シ得ヘ
 キモノニシテ馭者ト共ニ職務ニ従事セル同僚雇人ト見做スヲ得ヘキ
 ナ以テナリ斯クノ如ク夫レ一雇人ノ同僚雇人ニ對シテ行ヒタル私犯
 ニ付テハ雇主其責ニ任スルコトナキヲ以テ確定ノ規則トナセトモ其
 私犯ニシテ若シ雇主ノ不注意ニ原因セルモノナルトキハ雇主其責ニ
 任スヘキナリ
 畢竟雇主タル者ハ其雇人ノ安寧ヲ保護スルカ爲メ至當ノ注意ヲ用ニ
 ヘキ義務アル者ニシテ若シ雇主ニ於テ其注意ヲ怠リタルカ若クハ其
 他ノ義務ヲ盡クサルカ又ハ自己ノ懈怠ヨリ雇人ニ損害ヲ蒙ラシム
 ルトキノ如キハ自カラ其責ニ任セサルヲ得サルナリ故ニ例ヘハ雇主
 至當ノ注意ヲ用井スシテ既ニ腐朽ニ屬セル木ヲ以テ踏臺トナセシニ
 其雇人該踏臺ノ破壊ニ因テ負傷シタル場合ノ如キ又雇主危険ノ獵銃

ナルコトヲ知リツ、其旨ヲ告ケスシテ之レヲ其雇人ニ授ケ鳥ヲ射ラシメタルニ該獵銃破裂シテ雇人ハ爲メニ負傷シタル場合ノ如キ皆ナ雇主其責ヲ負ハサルヘカラサルナリ何トナレハ雇主ノ知リタル事實ニシテ雇人之レヲ知ラサルトキハ雇主ハ其事實ヲ雇人ニ知ラシムルノ義務アレハナリ雇主ニ於テ其義務ヲ怠リ雇人損害ヲ受ケタル場合ニ於テハ雇主ハ則チ自己ノ不注意ニ對シテ其責ヲ負フヘキハ理ノ當サニ然ル所ナリトス然レトモ雇人ニ於テ自己ノ使用セル器械ノ危険ナル性質ノモノタルコトヲ知リナカラ之レヲ使用シ爲メニ負傷シタル場合ノ如キハ雇主ニ其責ナキナリ尤モ雇主ニ於テ雇人ヨリ一層深ク其危険ヲ知リ居リタルトキノ如キハ雇主其責ヲ免レサルヘシ要スルニ是等ノ場合ハ其時々ノ狀況ヲ深ク吟味スルニアラサレハ其責任何レニ歸スルヤヲ判定スヘカラサルナリ去リナカラ第三者ニシテ隨

意ニ雇人ノ仕事ヲ助ケ又ハ雇人ノ依頼ヲ受ケテ共ニ雇主ノ仕事ニ従事セルトキ雇人ニ對シテ私犯ノ所爲アリタルトキハ矢張り同僚雇人ヲ以テ論シ雇主ハ其責ニ任セス是レ畢竟隨意ニ其仕事ヲ助ケタルト依頼ヲ受ケテ従事セルトニ拘ラス雇主ノ仕事ニ服スル間ハ同シク雇人ヲ以テ論スヘケレハナリ

第一編 私犯各論

前編ニ於テハ私犯全躰ニ關スル通則トモ稱スヘキ法論ノ大要ヲ講明セリ此編ニ於テハ則チ英國ニ於テ私犯ト稱スル所ノ犯行ノ各種類ニ付キ其大要ヲ講明セント欲ス然レトモ其所謂私犯ト稱スル犯行ハ種類頗ル多シ殊ニ法理ノ未タ決定セサル所亦少ナキニアラサルヲ以テ英米諸學者ノ著編ニ係ル私犯法論ニ就キ之レヲ見ルモ往々互ニ錯雜矛盾ノ點アルヲ免レサルナリ素ヨリ英國ノ法族ハ其由

來慣習法ニ在ルカ故ニ何種ノ法律ニ於テモ此弊害ナキヲ得スト雖
 モ私犯法ニ於テハ最モ然リトナサ、ルヲ得ス故ニ英國私犯法ヲ精
 細ニ研究セント欲セハ深ク古今ノ判決例ヲ探リ之レヲ法理ニ照ス
 ニ在ルノミ夫レ然リ然リト雖モ之レヲ歐洲大陸諸國ノ私犯律ニ比
 セハ其精細ニシテ且ツ明瞭ナルコト霄壤モ管ナラサルモノ、如シ
 諸君ニシテ若シ深ク古今ノ判決例等ヲ探リ自カラ能ク研究スル所
 アラハ私犯法上將來ニ決定スヘキノ法點甚タ多カルヘキヲ信ス只
 余カ今ヨリ私犯各論ヲ講明スルニ於テ往々錯雜ノ點アルモ是レヲ
 以テ余ノ罪ニ歸セサレハ余ノ幸福ノミ

諸余ハ此編ヲ左ノ三段ニ分チ追次之レヲ講明スヘシ

第一段 榮譽信用ニ對スル私犯

第二段 身體ニ對スル私犯

私犯法

第三段 財産ニ對スル私犯

第一段 榮譽信用ニ對スル私犯

第一章 誹譏犯

抑モ人ニ名譽ノ大切ナルコトハ今ニ於テ始メテ明カトナリタルモノ
 ニアラス古代ニ於テモ識者ノ皆ナ知リタル所ニシテ彼人有名ナルソ
 ロノ法律ヲ見ルモモセスノ教典ヲ讀ムモ其他古代埃及ノ法律ニ據
 ルモ多クハ名譽權ノ保護セサルヘカラサルヲ説ケリ然レトモ昔時ニ
 在テハ人文未タ開ケス人事未タ簡單ニシテ世間百般ノ競争少ナク互
 ノ交通モ稀ナルコトナレハ各人名譽ノ餘地モ自カラ狹隘ニシテ人皆
 ナ其權利ノ貴フヘキ所以ヲ知ラス隨テ法律モ又之レヲ保護スルコト
 甚タ厚カラサリシカハ罵詈サレタリトテ愚弄サレタリトテ敢テ名譽
 ナ害セラレタリトモ思ハス假令之レヲ思フコトアルモ實際ニ於テ格

別ノ損害ヲ受クルコトナキヲ以テ彼我相争フノ必要ナカリシコトナ
ラシ然ルニ人文漸ク開ケ人事隨テ複雜トナリ互ノ交通モ繁クナリ隨
テ百般ノ競争激シキ世ノ中ト成リ行クニ及ンテ自カラ名譽ノ餘地廣
濶ニナリ名譽ノ心モ發達シ精密ナル法律ノ之レヲ保護スルニアラス
ンハ各人能ク其位置ヲ社會ニ保持シ其生計ヲ完フスルコト能ハサル
ニ至レリ於是乎讒謗ヲ憤リ罵詈ヲ怒ルニ至ルハ自然ノ情勢ニシテ誹
譏律ノ起ル眞ニ止ムヲ得サルナリ
素ヨリ本邦ノ如キハ之レニ關スル法律未タ疎漏ノ嘆ナキ能ハスト雖
トモ英米ノ如キ人々其權利ヲ重スルノ國ニテハ名譽ヲ以テ人間カ社
會上ノ位置ヲ保テ能ク其生活ヲ完フスルノ最重要具トナスカ故ニ自
カラ法律ノ保護モ厚クシテ頗ル周到ナリト謂フヘシ人或ハ云ハン誹
譏律ノ制アル言論出版ノ自由ヲ箝束スル者ナリト此言理ナキニアラ

スト雖トモ徒ラニ罵詈譏謗ヲ爲シ人ノ名譽ヲ毀傷スルモノアルモ尙
 ホ自由ヲ拘塞スルトナシ之レヲ放擲スルアランカ即チ社會ノ秩序ヲ
 紊亂シ各人各箇ノ生計ヲ害スルニ至ルヤ必セリ然ラハ則チ勢之レカ
 制限ヲ施シ各人ヲシテ社會ノ位置ニ立タシメサルヘカラス只須ラク
 其度ニ應シ其宜シキニ適スヘキノミ畢竟スルニ言論出版ノ自由ハ人
 ノ名譽ヲ損シ公安ヲ害セサル範圍内ニ活動スルモノト知ルヘシ是ヲ
 以テ何レノ國タルヲ問ハス其制限ノ程度コソ異ナレ誹譏ニ關スル法
 律ノアラサルモノハ之レアラサルナリ

第一節 誹譏ノ性質

誹譏トハ言語、文章、圖書符號、彫刻等ノ手段ニ依テ惡意ヲ以テ虛妄ノ
 事柄ヲ公布シ他人ノ名譽ヲ傷ケ之レヲシテ世間ノ耻辱、嘲弄、嫌惡ヲ
 受ケセシムルノ所爲ヲ云フ

今此定義ヲ知リタル已上ハ誹譏ノ何タルコトハ諸君カ略々了解スヘ
シト雖モ一々此定義ヲ分析シテ其要素ヲ示スニアラスンハ蓋シ其詳
明ヲ盡スコト能ハサルヘシ因テ左ニ其要素ヲ解説セン

(甲) 惡意(マリス)

英法ニ於テハ誹譏ニ惡意ノ存在ヲ必要トナセリサレハ定義ノ
中ニモ惡意ヲ以テ云々トアリテ誹譏者ニ惡意ナキ以上ハ誹譏
ヲ以テ論スヘカラサルナリ然レトモ茲ニ所謂惡意トハ世間普
通ニ用ユル惡意ト云コトハ稍々其意味廣クシテ敢テ他人ヲ嫌
惡シ他人ヲ愚弄スルノ惡念ノミヲ指スニアラズ凡ソ他人ノ損
害トナルヘキコトヲ知リツ、其名譽ヲ傷クルカ如キ所爲アレ
ハ則チ法律ニハ惡意アルモノトナスナリ併シ誹譏犯ノ時ハ敢
テ現實スル惡意ノ存在スルコトヲ必要トナサスシテ一二ノ場

私犯法

百十一

二七ノ三十九

二七ノ三十八

合ヲ除クノ外ハ法律ハ一般ニ惡意ノ存在スルモノト推測スル
 ナリサレハ惡意ハ誹譏ヲ組成スルノ一要素ナリトハ云フモノ
 、眞實惡意ヲ挾ミ居リテモ又法律推測上ノ惡意ニテモ誹譏ヲ
 組成スルニハ區別ナキモノト知ルヘシ斯ル譯ニテ誹譏犯ニ於
 テハ法律ハ一般ニ惡意ノ存在ヲ推測スト云ヘハ被告人ニ於テ
 惡意ナカリシコトヲ證明スルモ決シテ其責ヲ免ル、コトヲ得
 サルナリ之レヲ以テ考察ヲ下セハ事實惡意ナシトモ法律ハ之
 レヲ推測スルノ謂ヒナリトス既ニ法律之レヲ推測スト云ヘハ
 蓋シ其場合ニ應シ其時々ノ情況前後ノ有様等ニ依テ法律ノ推
 測モ異ナルコトナラン然レトモ如何ニ法律ナレハトテ其惡意
 ナ推測スルニ足ル丈ケノ根據ナクシテ無暗ニ之レヲ推測スト
 云フモ甚タ面白カラヌコトナレトモ英法ニテハ誹譏犯ノ場合

ニハ其惡意ノ存在スルモノト一般ニ豫定シアルモノ、如シ故
ニ裏面ヨリ之レヲ見レハ惡意ノ有無ヲ問ハスト云フモ同様ニ
テ何モ殊更ニ惡意ヲ以テ誹譏犯ノ要素トナサストモ聊カ差支
ヘノアルヘキ理由モナキ筈ナリ素トヨリ誹譏犯ノ如キハ十中
七八マテハ常ニ惡意ノ存在スルモノナルヲ以テ斯クハ之レヲ
以テ一要素トナシタルコトナルヘケレトモ十中ニ二三ハ實際
惡意ノ存在セサルコトモアルトセハ敢テ法律上之ヲモ惡意ノ
存在スルモノト推測ヲ下スニモ及フマシ寧ロ夫レヨリモ初ヨ
リ誹譏犯ニハ惡意ノ有無ヲ問ハストスル方却テ明瞭ナリト予
ハ信スルナリ現ニ本邦ニテハ誹譏ニ惡意ノ有無ヲ問ハサルコ
ト、見ヘ坊間又ハ田舎等ニテモ童子等カ何心ナク口クセニ歌
フ所ノあつかさん、みやだよ、巡查の女房、できるその見、あめざ

らしト云ヘル一歌ヲ歌ヒタルモノカ嘗テ罰セラレタルコトアルヲ聞キ及ヘリ思フニ此歌ノ如キハ世間普通ニ行ハル、モノニシテ敢テ巡查ニ對シテ惡意ヲ抱キ殊更ニ巡查ノ名譽ヲ害セシト欲スルノ念慮アルニハアラサルナリ然レトモ斯ル歌ヲハ世間ニ流行セシメテハ終ニハ童兒等マテモ巡查ニ不敬ヲナシ公安ヲ害スルニ至ルヘケレハ其念慮ノ善惡如何ヲ問ハス斯クハ罰セラレタルモノナランカ英國ノ法律トテモ同様ニテ誹譏者ニ惡意ナクハトテ苟モ其誹譏ニ用ヒタル言語又ハ文書等ニシテ公安ヲ害シ若クハ人ノ名譽ヲ傷クルニ足ルモノナランニハ法律ハ惡意ノ存在ヲ推測シテ必スヤ之レヲ法律ニ問フ也果シテ然ラハ殊更ニ惡意ノ存在ヲ推測スト云ハスシテ惡意ノ有無ヲ問ハスト云フトモ差支ヘノアル道理ナキノミナラス却

因

テ實際ニ適スルモノト謂ハサル可カラス併シ英法ニテモ左ノ
二場合ニ於テハ眞實ニ被告ニ惡意ノアリタルコトヲ原告ヨリ
証明ス可キモノトセリ

(一) 不問ノ誹譏 (不問ノ誹譏ノコトハ後段之レヲ論述ス可

(二) 他人ノ動産若クハ不動産上ノ權利ニ關シテ誹譏シタル時

(乙)

虚妄ノ事柄(フォルシチー)

誹譏ニ用ヒタル言語文書等ハ事實ニナキ虚妄ノ事柄ヲ表示シタ
ルモノニアラサレハ誹譏犯ヲ組成セサルナリ故ニ事實アリタル
コトヲ語リ又ハ文書等ニ認メテ之レヲ公ケニシタレハトテ決シ
テ誹譏トハ云フヘカラスサレバ英國ノ有名ナル政治家チヤールス
シルク氏が某ノ婦ト姦通シタリト口頭ニテ語ルモ新聞紙上ニ書

キ載タルモ決シテ誹譏ニハアラザルベシ何トナレバ氏ガ姦通犯
 ナ以テ巨大ノ損害金ヲ賠償シタルコトハ事實上確カナルノミチ
 ラズ法律モ之レヲ認ムレバナリ又此頃世ニ名高キ相馬事件ニテ
 錦織某ハ家宅侵入罪ヲ犯シタリト新聞紙上ナド書載セアレハ誰
 レトテ之レヲ稱シテ某ヲ誹譏シタルナリト云フモノナキハ何ソ
 ヤ即チ事實上家宅侵入罪ヲ犯シテ法律モ亦之レヲ認メタレバナ
 リ之レニ反シテ彼ノシルク氏ガ事實上姦通シタルコトモナキニ
 姦通シタリト云ヒナシ又錦織某ガ家宅ヲ侵入シタルコトモナキ
 ニ家宅侵入罪ヲ犯シタリト云ヒテ之レヲ公布シタランニハ其時
 コソ即チ誹譏ヲ以テ問ハルベシ之レヲ要スルニ誹譏犯ヲ組成ス
 ルニハ事ノ虛妄ナルコトヲ以テ一ノ要素トナスナリ

(丙)公布(パブリケーション)ニ關スル要件

言語文章等ハ事實ナキ虚妄ノ事柄ヲ表示シタルモノナルモ惡意
ヲ以テ之レヲ公布シタルニアラザレバ未ダ誹譏犯ヲ組成セサル
ナリ而シテ茲ニ公布トハ數多ノ人ノ前ニテ表示スルヲ云フカト
尋ヌレバ決シテ然ラス只誹譏サレタル者己外ノ人ニ知ラシメタ
ル己上ハ設令ヒ一人ニテモ又ハ數人ニテモ都テ之レヲ公布トハ
云フナリ通常公布ト云フキハ公衆ニ知ラシメルコトヲ云フモノ
故何カ數多群衆ノ面前ニテ演說シタルカ又ハ新聞上ニデモ書
キ載セテ之レヲ世ニ公ケニシタルカニアラザレバ公布トハ稱シ
難キ様考ヘラルレヒソハ大ナル誤リニテ決シテ斯ル狹隘ナル
意味ニ用ヒタルモノニアラザルコトハ能ク注意セザルベカラズ
サレバ甲者アリ乙者ヲ誹譏スルノ文書ヲハ本人ナル乙者ニ與ヘ
タリトカ若クハ乙者ノミ在ル所ニ於テ該乙者ヲ罵詈シタリトテ

未ダ以テ誹譏トハ稱スベカラザルナリ必ズヤ被害者本人ノ外ニ
第三者ノアルヲ要スベシ今一例ヲ舉ケンニタシカ紐育邦ノ判決
例ト覺ユルガコソバヤ、トルウイルセル對ワンドト云ヘル訴件ニ
於テ被告ワンドハ原告コソバヤ、トルウイルセルニ向ヒ君ハおた
かト云ヘル某ノ婦人ト姦通シタリト云ヒケルニ原告ハ自分百姓
ノコトニテハアリ被告ノ言ヲ聞キテ殊ノ外氣ニ掛ケ神經ヲ痛メ
テ遂ニ病ミ付キ仕事ヲナスコトモデキザル様ニナリテケレバ作
物ナドモ枯ル、ニ垂ントシタルヲ以テ余儀ナク人夫ヲ雇ヒ巨額
ノ賃錢ヲ出シテ農事ニ従事セシムルニ至リタレバトテ原告ハ被
告ニ對シテ誹譏ノ訴ヲ起シ損害ヲ要償シタリシニ裁判所ノ判決
ニハ被告ハ法律上ノ義務ヲ破リタルモノニアラズシテ誹譏ノ責
任ナキモノナリトセラレタリ是レ畢竟公布ノ一要素ヲ欠キタル

ガ爲メナリトス
夫レ然リ而シテ誹譏ニ用ヒタル言語文書等ノ公布ハ故意ニ出タルト否トナ問ハス錯誤タルト若クハ全ク知ラザルトニ拘ラズ苟モ被害者己外ノ人ニ知ラシメタルニ於テハ法律ハ公布アリタルモノトナシ被害者ニ民事上損害要償ヲ起訴スルノ權ヲ許スナリ然レモ實例ニ因テ見ルニ茲ニ一ノ例外トモ稱スヘキモノハ他ニアラズ誹譏者其妻ニ他人ヲ誹譏スルノ言語ヲ發シ又ハ文章等ヲ見閱セシメタルハ公布ニアラザルコト是レナリ畢竟夫婦ナルモノハ人道ノ大倫ニシテ極メテ親密ナルモノナレバ夫婦間ノ關係ヲ以テ一人ト見做スガ故ナランカ然リト雖モ誹譏者カ被害者ノ妻ニ誹譏ノ言語ヲ發シ又ハ文書ヲ見閱セシメタル場合ノ如キ其他親子兄弟ノ間柄ニテモ公布アリタルモノト看做ス况ンヤ親戚

友人ノ間ニ之レヲ知ラシムルニ於テオヤクテ深淵ニ墮ルル事ヲ避ルル
 丁^ハ汚辱トナルベキ事柄(シスバレトシメシト)トモテ其ノ虚妄ナル事柄ヲ其
 言語文書等ニ設令ヒ虚妄ノ事柄ヲ表示シタルモノニテシカモ之
 レヲ公布シヌレバトテ對手本人ノ汚辱トナルベキ事柄ニアラザ
 ル已上ハ之レヲ稱シテ誹譏トナスベカラズ是レ他人ノ名譽トナ
 ルベキコトヲ公布セバ設令ヒ其事柄ハ虚妄ナルニモセヨ何モ當
 人ニ取リテハ害ナキノミナラズ却テ益アルヲ見ルコト故之レヲ
 誹譏ト稱スベカラザルハ當然ナリトス又設令ヒ名譽トナルベキ
 コトニアラズトモ名譽ヲ傷クルニ至ラザル限リハ未ダ以テ誹譏
 トナスベカラザルナリ故ニ誹譏ヲ組成スルニハ其表示シタル言
 語文書等ガ汚辱ニ涉ル事柄ナルヲ要スルナリ然ラバ即チ汚辱ト
 ナルベキ事柄トハ如何ナル性質ノモノナルベキカト云フニ原告

ガ被告ノ表示シタル言語文書等ノ爲メ他夫ヨリ擯斥ヲ受ケ又ハ嘲弄侮辱セラレ若クハ世間ノ笑ヲ受ケ又ハ信用ヲ失ヒ或ハ他人ニ忌避セラルトカサナクモ右等數者ノ傾向ヲ起生スベキ事柄ナルキハ皆ナ以テ汚辱トナルベキ事柄トナスナリ例ヘハ彼レハ盜賊ナリ渠レハ傳染病ニ罹リ居レリトカ又ハ癡癲ナリトカ詐僞者ナリトカ若クハ負債ヲ償却シ能ハザル無資力者ナリトカ或ハ姦通シタリトカ云ヘル事柄ハ即チ皆ナ汚辱トナルベキ事柄ナリトス又人ノ職業ニ就テ云ヘハ某醫師ハ藪醫ニシテ屢々人ヲ殺ストカ或ハ某新聞記者ハ讒謗新聞ニシテ人ノ穴探チナストカ云フハ同シク汚辱トナルベキ事柄ト稱スベシ

夫レ斯クノ如ク誹譏ニ用ヒタル言語文書等ハ汚辱トナルベキモノタルヲ要ストハ雖モ其言語文書等ノ汚辱ニ涉ルモノナルヤ否

チ意解スルコト甚ダ困難ナルコトアリ何トナレバーノ言語ニシテ數多ノ意味ヲ含有スルコト鮮少ナラザルノミナラズ又地方ニ依テ解シ方ノ異ナル言語等モ多クレバナリ是等ノ場合ニ於テハ何レニカ其意味ヲ一定セザルベカラズ今普通一般ノ法則ニ從ヘバ言詞ノ解釋ハ通常ノ意味ニ隨テ之レヲナスベシトアリサレバ誹譏ニ用ヒタル言語タル數様ニ解釋シ得ベキ場合ニ於テ一方ノ解釋ヲ採レバ其言語ハ即チ誹譏トナリ他ノ一方ノ解釋ヲ用ユレバ即チ誹譏トナラザルガ如キ時ニハ通常人ノ理解スル方ニ從ハザルベカラズ故ニ其言語ヲ發セル本人ニハ誹譏ニアラズト信シ居リタルニモセヨ解釋ノ仕様ニ因テ誹譏トシテ問ハルコトモアルナリ又一應之レヲ見聞スレバ言語自カラニテハ更ニ汚辱トナルベキモノナラザルモ冥々ノ中ニ其意ヲ示シテ用ユルコトア

リ即チ所謂冷語トカ反語トカ云フノ類是レナリ是等ハ皆ナ通常
人ガ見聞シテ普通ノ意義ニ用ヒタルモノニアラズトナスガ如キ
性質ノモノタル已上ハ設令ヒ表面ニハ汚辱トナルベキ言語ニア
ラザルモ通常人ノ見聞スル通りニ解釋スベキモノトナスナリ又
地方ノ方言ニ由リテ全ク意味ノ相反スルモノアリ即チ東京ニ於
テ辱言ト稱スルモ地方ニヨリテハ華言ト稱スルカ如シ此場合ニ
東京ニ於テ地方ノ人ヲ誹譏スレバ好シ地方ニアリテハ華言ナル
モ用ヒシ土地ニテ辱言トナルベキモノナレバ同シク汚辱ノ言語
ナリトナスベシ

己上陳述シタル四條件ハ則チ誹譏ヲ組成スルノ要素ニシテ此四條件
悉ク具備シテ初メテ誹譏犯ヲ組成スルナリ苟モ此條件ノ一チ欠ク
ハ稱シテ以テ誹譏犯トナスベカラザルモノト知ラザルベカラズ然ル

に Libel.
は Slander.

ニ英國ニ於テハ誹讒ヲ分テ書讒(ライベル)口讒(スランダ)ノ二ツトナシ書讒ニ於テハ右四條件ヲ具備セバ直チニ被害者ニ起訴スルコトヲ許スノミナラズ尙ホ刑事事ニモ之ヲ問フナリ口讒ニ於テハ右四條件ノ外尙ホ特別ノ損害アルニアラズンバ起訴スルコトヲ許サザルノミナラズ刑事事ニ問フコトナシ(茲ニ口讒トハ口頭ヲ以テ人ヲ罵詈スルヲ云ヒ書讒トハ文書圖書等ニ因テ人ヲ讒謗スルヲ云フナリ)語ヲ換ヘテ之レヲ云ヘハ英法ニテハ書讒ヲ重シトナシ口讒ヲ輕シトナスモノトシ抑モ此區別ハ如何ナル理由ニ基キタルモノナルベキカ一向其根源ハ分明ナラザレハ諸學者ノ說ニ就テ之レヲ察スルニ其理由トスル所左ノ二點ニ外ナラザルガ如シ

(第一)書讒ハ口讒ニ比シテ其影響スル所ノ區域廣クシテ且ツ人ノ腦裏ニ感スルコト深ク尙ホ永久不朽ニ存スルノ患アル事

(第二)書讒ハ口讒ニ比セバ直接ニ社會ノ公安ヲ害スルノ恐レアル事此ノ二ツノ理由ハ説ク所ナレバ余輩ノ敢テ彼レ是レ駁撃ヲ試ムベキ所ニアラズト雖氏之レヲ實際ニ徴スルニ二者ノ間怪訝ニ勝サルモノアレバ諸君ノ參考マテ聊カ卑見ヲ述ベ置クベシ諸君試ミニ思ヘ彼ノ協會ニ於テ數多ノ公衆ニ向ヒ口ヲ極メテ罵詈スルキノ如キハ啻ニ文書又ハ圖畫等ヲ以テ一人若クハ數人ニ對シテ文章上誹讒スルキト見聞スル者ノ之レヲ感スルコト孰レカ深ク孰レカ淺キカ余ハ斯ル場合ニハ文書等ヲ以テ誹讒スルヨリ言語ヲ以テ誹讒スルヲ寧ク人ノ感情ニ徹シ永久不朽ニ其影響ヲ存スルモノトセサルヲ得サルナリ然ルニ口讒ハ其影響ノ大ナル場合ニテモ英法ニテハ刑事事ニモ問ハレズ又誹讒サレタル者ニ特別ノ損害ヲケレバ民事ノ訴ヘモ起ズコトヲ許サズシテ却テ其影響少ナキ場合ニテモ書讒ハ刑事事ヲ以テ論セラレ或ハ誹

譏サレタル者ニ特別ノ損害ナクモ民事ノ訴ヘテ起ストハ聊カ權衡ヲ失スルモノト謂ハサルベカラズ元來書讒タルト口讒タルトヲ問ハズ總テ誹譏ヨリ生スル影響ハ一小社會又ハ友人間位ノ狹キ區域ニ止マルモノ多クシテ書讒ナレバトテ別ニ其區域モ廣ク且ツ永久不朽ニ存スト云フヘカラズ這ハ自己ノ感覺ニ就テ見ルモ明カニシテ假令ハ新聞紙ナドニ自分ノ未タ面會シタルコトモナク又其姓名ヲモ聞知シタルコトモナキ人ノ事ヲ誹譏シタルハトテ自分ニ於テハ更ニ無感覺ニシテ恰モ木偶人ヲ誹譏シタルト一般一通リ讀ミ下シタル儘腦裡ニモ止マルコト甚タ少ナシ之レニ反シテ人ニ聞キタルコトハ自分ニテ讀ミタル事柄ヨリモ却テ腦裡ニ永ク存シテ忘却セサルハ通常ノ原則ナリカレハ口讒ハ其影響狭クシテ人ノ腦裡ニ感スルコト淺ク書讒ハ其影響廣クシテ人ノ腦裡ニ存スルコト永久不朽ナリトモ決シテ云ヒ難シ又書讒

ハ公安ヲ害スルコト直接ナリト云フモ古今ノ歴史ヲ見ルニ筆以テ人
ヲ殺シ或ハ人心ヲ激動セシメタルヨリ口以テ人ヲ殺シ人心ヲ激動セ
シコト蓋シ多シトス果シテ然ラハ英法ニ於テ誹譏犯ヲ書讒口讒ノ二
ツニ區別シ之レカ輕重ヲ立タルハ格別必要ノコトモ見ヘス且又諸學
者ノ説クカ如キ理由ニ基キ起リタル區別トモ考案ヲ下スコトヲ得サ
ルナリ固ヨリ事ノ實否ハ今ニ於テ知ルニ由ナシト雖モ英法ニ斯ル不
思議ナル區別ヲ存スルハ書讒律ト口讒律ト其起源ニ前後アルヨリ其
時代ノ勢ニテ斯ル結果ノ差異ヲ生シタルモノカ終ニ慣習トナリ今日
ニ及ビタルモノニハアラサルヘキ歟其故ハ昔時ニ在テハ人民未ダ讀
ミ書キノ力乏シ印刷ノ器具未ダ發明ナラサリシ等ノ爲メニ文書ナ
トニテ他人ノ名譽ヲ傷シルコトニテハ出來得ヘキ様モナカリシヲ以
テ誹譏ト云ヘハ必ズ口頭ニ止マリシコト甚ダ明カナリサレハ之レニ

關スル法律モ皆ナ口頭ニテ誹譏スル場合ノミヲ舉ケテ管テ文書等ニ
 涉ルモノアルヲ見ス然ルニ世ノ進化漸ク熟シ人々讀ミ書キノ力ニ富
 ミ印刷ノ利器モ發明セラレ万事万端之レカ爲メ進歩ヲ見ルニ至リ
 コトナレハ一利一害ハ世ノ習ヒニテ兎角ニ此利器ヲ亂用シ口頭ニ代
 エルニ文書圖書ナトニテ人ヲ誹譏スルノ弊起リ止ムルヲ得ズ又誹譏
 ニ一層ノ精密ヲ加ヘテ是等ノ害ヲ防禦セサルヘカラサルニ至レリ之
 レヲ要スルニ口讒律書讒律其起源ニ前後アリテ口讒律先ツ起リ書讒
 律後ニ發シタルノ實アルヲ以テナリ
 其レ斯クノ如ク書讒口讒ノ區別其基ヒスル所甚タ明カナラズト雖モ
 英國現行法律ニ於テモ尙ホ書讒口讒ノ區別ヲ立テ、書讒ニ對シテ起
 訴スルキハ前述ノ四條件サヘ具備スレハ別ニ損害ノアリタルコトヲ
 證スルニ及ハス口讒ニ對シテ起訴スルキハ二三ノ場合ヲ除クノ外彼

ノ四條件ノ外尙ホ別ニ損害ノアリタルコトヲ證明セサルヘカラサル
 モノトナセル己上ハ茲ニ又口讒ヲ以テ誹譏ヲ組成スベキ時ノミ適用
 スベキ損害ナル一要素ヲ加ヘサルベカラサルナリ

(戊)損害(ダメーシス)

口頭ヲ以テ人ヲ罵詈シタル場合ニ誹譏ヲ組成スルニハ原告ニ於
 テ特別ニ損害アリタルヲ證明スルヲ要スヘシ而シテ口讒ノ爲
 メニ生シシ損害ハ其讒言ヨリ起生セシ結果ニシテ且ツ至當ニ豫
 知セラレ得ベキモノタルヲ要スルナリ故ニ場合々々ニ臨ンテ前
 後ノ情狀等ヲ能ク吟味セサレハ一ノ損害ハ果シテ讒言ヨリ生シ
 タルモノナルヤ否ハ判然セサレモ今一二ノ例ヲ舉ケテ之レヲ示サ
 ンニ例ヘハ獨身ノ婦ノコトニ就キ彼レハ某ト夫婦ノ様ニ暮シ居
 ルトカ又ハ彼レハ獨身ナルニ小兒ヲ産ミタリトカ口頭ニテ云ヒ

タルモノアレハトテ該婦人ハ之レヲ誹譏トナシテ訴フコトヲ得
 ザルベシ然レモ若シ該婦人ニシテ將サニ結婚セントシテ準備中
 ニ右ノ如キ事柄ヲ言掛ケラレタルヨリ遂ニ結婚ノ事モ破談トナ
 リタリトセンカ即チ該婦人ハ某ノ讒言ノ爲メニ特別ノ損害ヲ蒙
 リタルモノ故直チニ某ニ對シテ起訴ノ權利ヲ有スベシ(ダビス對
 ガーシノルノ訴件)又被告ガ讒言シタルノ結果トシテ原告ガ其位
 置ヲ失フニ至リタルカ若クハ使用サレザルコト及ビタルモ如キ
 モ特別ノ損害アリタルモノトナシ起訴スルコトヲ得ベキモノト
 ス即チ甲者アリ某貴族ノ家令タリシニ乙者不實ノ事柄ヲ構造シ
 テ甲者ハ私生ノ子ヲ有セリト云ヒフラセシヨリ遂ニ甲者ハ家令ノ
 職ヲ退ケラル、ニ至リタルガ如キ場合ニハ乙者ニ對シテ誹譏ノ
 訴ヲ起スヲ得ルナリ(ペーレン對ビユーモリスノ訴件)サリナカラ讒

言ノ爲メ音ニ朋友トノ交際ヲ失ヒタリトカ若クハ既婚婦カ讒言
セラレテ夫ヨリ待遇ヲ異ニセザル、ニ至リタリトカ云ヘル事柄
ハ特別ノ損害ト稱スベカラザルモノ、如シ(口)ボルト對(口)ボ
ルトノ訴件及ビリシテ對テイトノ訴件夫レ然リ然リト雖モ特別
損害ノ事ニ關シテハ往々判決例モマチマテトナリ居リテ一定セ
ザル所アレバ注意セザルベカラザルナリ

己上開陳セルガ如ク英法ニ於テハ口讒ニ對シテ起訴スルニハ特別損
害ノアリタルコトヲ證明スルヲ要スルコトナレモ特別損害ヲ證明セ
ズシテ起訴スルコトヲ許セル場合三ツアリ是レテ三口讒ト稱シテ書
讒ト同一ノ結果アルモノト見做セルナリ即チ左ノ如シ

(第一)他人ニ對シテ不實ノ犯罪ヲ言掛ケタル時
他人ニ對シテ不實ノ犯罪ヲ言掛ケタルモノアルキニハ別ニ特

別損害ノ證明ヲ要セスシテ起訴スルコトヲ得ヘシトハ英法ノ
 精神ナレハ如何ナル種類ノ犯罪ニテモ其輕重ヲ問ハス都テ不
 同實ノ犯罪ヲ言掛ケラレタル時ニハ特別損害ノ證明ヲ要セスシ
 テ起訴スルコトヲ得ルヤ否ニ至テハ判決例各々其說ヲ異ニセ
 ルモノ、如シ一說ニ因レハ茲ニ所謂犯罪トハ其性質稍々重キ
 上ニ屬スル犯罪ハ此中ニ含蓄セザルカ故ニ是等ノ輕キ性質ノ
 犯罪ヲ言ヒ掛ケラレタルトテ決シテ直チニ起訴スルコトヲ
 許サス必ズヤ特別ノ損害ヲ受ケタリトノ證明ヲ要スベシ故ニ
 例ニハ甲者アリ某女ヲ以テ淫賣女ナリト公言シタリトセンカ
 淫賣ノ罪ハ乞食又ハ豫言者ヲナシタルノ罪ト其種類同一ナレ
 言ハ某女ハ特別ノ損害ヲ受ケタルコトヲ證明スルコトアラスンハ

arobnaa wntT

甲者ニ對シテ誹譏ノ訴ヘキトスヲ得ザルナリト(ブルイカ)對
 コヒオンノ訴件然ルニ今一説ハ全ク此説ヲ破毀シテ苟モ犯罪
 ト稱スヘキ事柄ヲ言掛ケラレタル時ハ其輕重如何ニ拘ラズ誹
 譏ノ四條件サヘ具備セハ別ニ損害ノアリタルコトヲ證明スルニ
 及ハズトナセリ(ミルロル對バリシユ)ノ訴件夫レ斯クノ如ク兩
 説各々其見ヲ異ニセルヲ以テ何レカ是何レカ非未ダ以テ一定ノ
 説ナシト雖モ茲ニ所謂犯罪トハ必ズシモ重罪ヲ指シタルモノ
 ニアラス輕罪モ又其中ニ含蓄セルコトハ一般ノ許ス所ナルガ
 如シ(ヤング對ミルロルノ訴件)

(第二)公衆ニ擯斥セラレ又ハ嫌惡セラレ、ガ如キ疾病ニ罹カレリト
 言掛ケタル時、又ハ嫌惡セラレ、ガ如キ疾病ニ罹カレリト
 公衆ニ擯斥セラレ又ハ嫌惡セラレ、ガ如キ疾病ニ罹レリト言

掛ケタル時トハ則チ某ハ虎列刺病ニ罹レリ若クハ天然痘チ病
 メリト云フカ如キナリ斯ル場合ニハ別ニ損害ノ證明ヲ要セズ
 シテ起訴スルコトヲ得ベシ畢竟斯ル傳染質ノ病氣ハ世人ノ皆
 ナ嫌惡スル所ナルヲ以テ其之レチ病メル旨ヲ言ヒ掛ケラレタ
 ル者ハ社會ノ擯斥ヲ受クルカ故ナリ然レモ茲ニ注意スベキハ
 時ノ現在ヲ要スルコト是レナリソハ時ノ過去ヲ用テ某ハ嘗
 テ虎列刺病ニ罹リタルコトアリシト言ヒ掛ケタルモ直チニ訴
 權ヲ生セズ必ズヤ特別ノ損害アリタルコトヲ證明セサルヘカ
 ラザルカ故ナリサレハ某ハ虎列刺病ニ罹レリト云フガ如ク現
 在ノ事柄ヲ示セタルニアラザレハ此規則ヲ適用セサルコト、
 知ルベシ(カ)スレキ對マツプルラムノ訴件尤モ過去ノ時
 ヲ用テ公衆ニ擯斥サル、カ如キ病氣ニ罹リタルコトヲ言掛ケ

害ヲレハトテ若シ其中犯罪ニ關係アル事柄ヲ含メルモ別ニ損
 害ノ證明ヲ要セスシテ訴權ヲ有スベシ假令ハ甲者アリ乙者
 乙者ノ妻ト姦通シタルヨリ懲毒ヲウケタルコトアリタリト
 言掛ケタリトセンカ姦通ハ犯罪ノ一ナルガ故ニ乙者ハ直チニ
 起訴ノ權ヲ有スベシ但シ斯ル場合ハ寧ろ第一ノ場合ナル犯罪
 言掛ケル時ノ方ニ屬シテ論スルヲ以テ穩當トナス
 (第三)他人ニ對シテ職務又ハ職業ニ關シ不適當ナル資格ヲ有スルト
 他人ニ對シテ品行ナリト言ヒ掛ケタル時人其資格ハ若クハ
 他人ニ對シテ職務又ハ職業ニ關シ不適當ナル資格ヲ有スルト
 カ若クハ不品行ナリト言ヒ掛ケタル時ニハ別ニ損害ノ證明ヲ
 要セスシテ原告ニ起訴ノ權アルベシト雖モ其之レヲ言ヒ掛ケ
 ラレタルガ爲メニ或ハ職務ヲ失フニ至ルノ傾向アルカ若クハ

Repeated defamation.

復發誹讒

職業ニ損失ヲ來タスノ傾向アルベキ場合ニアラザレハ此規則
 更適用セサルナリ例ヘハ船長某ニ就キ彼レハ航海ノ術ヲ辨ヘ
 サルノミチヲズ品行放蕩淫逸ニシテ船長ノ任ニ堪ヘズト云フ
 ガ如キ醫師某ニ就キ彼レハ數醫ニシテ常ニ調藥ノ方ヲ誤マリ
 人ヲ殺スコト多シト云フカ如キ又代言人某ニ就キ彼レハ三百
 三代言ニシテ金錢ヲ貪ルコトノミチヲ考ヘ常ニ鑑定ヲ誤マルト云
 フガ如キハ則チ皆チ職務又ハ職業ニ損失ヲ來タスベキ傾向ア
 ル言語ト云フベキナリ

第二節 復發誹讒

以上開陳シタル所ニ據テ誹讒ノ何物タルコトハ諸君モ畧了解セラレタ
 ルコトナラン既ニ之ヲ了解セラレタル以上ハ人ノ發シタル言語若クハ
 文書等ニシテ其誹讒ニ屬スベキモノト屬セサルモノトチ區別スルハ

甚タ難キニアラス夫レ然リ而シテ其言語若クハ文書ニシテ誹譏ニ屬スヘキ性質ノモノタレハ其之ヲ發シタル本人ニ責任ノ歸スルハ素ヨリ當然ナリ然レハ誹譏犯ニ於テハ敢テ必スシモ誹譏者本人ノミ其責任ヲ負擔スルモノニアラスシテ誹譏者ノ言語文書ヲ傳播シタル者又ハ印刷シタル者モ亦其責ニ任セサルヘカラス其之ヲ傳播シタル所爲ヲ稱シテ復發誹譏ト言フ語ヲ換テ之ヲ言ヘハ他人ノ發シタル言語文書ヲ受繼キテ之ヲ傳播シタル所爲ヲ謂フナリ此場合ニ於テ若シ損害ノ單ニ他人ノ言語文書ヲ復發シタル爲メニ起リタルモノナルキハ誹譏者本人ハ責任ヲ有セスシテ却テ之カ復發者獨リ其責ニ任スヘキモノトス是レ復發誹譏ノ場合ニ於テ最モ注意スヘキ原則ナリ純粹ノ理屈ヨリ推究セハ誹譏者本人ニシテ其責ヲ免ル、ヲ得ルハ甚タ不當ナルニ似タリト雖モ私犯法ノ制裁ハ元來損害ノ賠償ニアルヲ以テ其

損害ヲ生セシメタル近因ヲ作りタルモノ即チ復發者ヲシテ之カ賠償ノ責ニ當ラシムルモ又止ムヲ得サルナリ尤モ左ノ二場合ニ於テ本人獨リ其責ニ任セサルヘカラス

(甲) 誹譏者本人他人ヲ教唆シ又ハ他人ニ委託シテ其言語文書ヲ復發傳播セシメタル時

此場合ニ於テハ假令損害ハ單ニ復發傳播シタルカ爲メニ生シテ復發タルニモセヨ其之ヲ復發傳播セシメタルハ誹譏者本人ノ意ニ依リテ出テタルモノニシテ復發者ハ自カラ好テ之ヲ復發シタルニアラス去レハ其責ノ歸スル所ハ復發者ニアラスシテ誹譏者本人ニ歸スルタラサルヘカラス是レ理ニ於テ然ラサルヲ得サルナリ故ニ譬之ハ甲者丙者ノ面前ニ於テ乙者ヲ罵詈シ丙者之ヲ他人ニ復發シタルカ爲メ乙者ハ損害ヲ蒙ルニ至リタルカ如キ場合ハ單

ニ丙者ノ復發ヨリ生シタル結果ニシテ甲者丙者ヲ教唆シテ復發セシメタルニアラス又委任シテ傳播セシメタルニモアラサレハ其責任ノ歸スル所甲者ニアラスシテ丙者ニアルナリ(ワ)ド對ウイースノ訴件然レモ若シ之ニ反シテ甲者丙者ヲ教唆シテ傳播セシメタルカ爲メニ乙者ニ損害ヲ來タシタルコトナラシニハ甲者獨リ其責ニ當ルヘキハ論ヲ待タス

(乙) 誹譏者本人德義上他人ニ傳播セサルヲ得サルカ如キ關係アル人ニ向ヒ誹譏ノ言語文書ヲ發シタル時

此場合モ亦前述ノ場合ト同シク假令損害ハ其言語文書ヲ復發傳播シタルカ爲メニ生シタルニモセヨ他人ニ之ヲ傳播セサルヲ得サルカ如キ德義上ノ義務アルモノニ向ヒ其言語文書ヲ發シタルコトナレハ恰モ其之ヲ傳播スルコトヲ委任シタルト一般ニ

ルヲ以テ誹譏者本人其責ニ任セサルヘカラサルナリ故ニ譬ヘ
 ハ甲者アリ丙者ニ向ヒ丙者ノ兄乙者ノ妻ノ品行ニ就キ誹譏シ
 タリトセンカ丙者ハ其兄ナル乙者ニ復發スベキ德義上ノ義務
 ナ有スルモノ故ニ之レヲ復發シタルカ如キ場合ニ於テ誹譏者本
 人ハ敢テ丙者ニ其言語傳播ノ事ヲ命シタルニモアラヌ又丙者
 ナ教唆シタルニモアラヌト雖モ其責任ノ歸スル所ハ丙者ニア
 ラスシテ誹譏者本人ニ在ルモノトス是ヨリシテ推究スレハ同
 組合員間ノ復發又ハ主従ノ間ノ復發ノ如キ亦同一ノ部類ヲ以
 テ論スルモ可ナルヘクシテ往々此類ノ判決例モ見受ケタルコ
 アルナリ譬ヘハボトエニ對ボトエノ訴件ノ如キハ即チ同組
 合員間ノ復發ヨリ生シタルモノニシテ同組合員タルモノハ德
 義上復發スルヲ得サルカ如キ關係アルモノナリト判決セラレ

右ノ譯ナルヲ以テ此二場合ニ適合スヘキモノヲ除クノ外損害ノ單ニ復發ヨリ生シタルキハ復發者其責ニ任スルモノト知ルヘシ然レモ其言語ニシテ損害ヲ生セサルモ訴件トナルヘキ性質ノモノナルキハ假令損害ハ復發ヨリ生シタルニモセヨ誹譏者本人モ共ニ其責任ニ當ルヘキモノタルヲ信スルナリ譬ヘハ口讒ノ場合ニ於テ特別ノ損害ナクトモ訴權ヲ生スル時ノ如シ又書讒ノ場合ニ於テ訴權ヲ生スルハ損害ノ有無ニ關セサルヲ以テ誹譏者本人共ニ恒ニ其責ニ當ルヘキモノタルヲ信ス

夫レ然リ然リト雖モ假令ヘハ甲者アリ乙者ヲ罵詈シタリシコ丙者其言語ヲ印刷ニ附シタリトガ又ハ文書ニ認メテ公布シタルキノ如キハ誹譏者本人ハ無責任ナルモ其之レヲ印刷ニ附シタル者又ハ其印刷ノ

手助ケナシタル者等ハ乙者ニ對シテ都テ其責ニ任セサルヘカラサ
 ルナリ又新聞雜誌類ノ社主又ハ編輯人カ紙面ニ記載シタル誹譏ノ言
 語ニ對シ訴ヘラレタル時ノ責任ニ付テハビクトリヤ王第六年及ビ七
 年ノ條例第九十章第二節ニ於テ新聞雜誌類ノ社主又ハ編輯人ハ其紙
 面ニ記載シタル誹譏ノ言語ニ對シ起訴セラレタルキハ被告人ハ惡意
 ナキコト、大過失ナキコト、及ビ時日ヲ經スシテ充分ナル謝辭ヲ其
 紙上若クハ他ノ新聞ニ登載シタリトカ又ハ一ヶ月已内ニ刊行セサル
 雜誌類ナラハ原告人ノ望ム所ノ新聞ニ謝辭ヲ登載スヘキヲ申込ミタ
 ル旨ヲ答辨シ償金トシテ若干ノ金員ヲ法庭ニ納メ訴訟ヲ免ル、コト
 ナ得ヘシト定メタリ

已上陳述シタル所ニヨリテ復發誹譏ノ何物タルコト及ビ其責任ノ歸
 スル所モ略々了解セラレタルベシ

Privileged communication.

第二節

不問誹議

不問誹議トハ英語ニテ「プリビレシツド、コムミニケイシヨン」ト言ヘル
 字ヲ譯シタルモノニシテ之ヲ原語ノ儘直譯スレハ特權アル通知トモ
 謂フヘシ然レハ唯特權アル通知ト謂フノミニテハ一向誹議ニ關係ナ
 キモノ、如ク見ヘテ其意味モ明瞭ナラサレハ寧ロ不問誹議ト譯スル
 ノ穩當ナルヲ知ルナリ元來誹議犯ニ於テ「プレビレシツド、コムミニケ
 イシヨン」ト言ヘルハ如何ナル意味カト問フニ言語文書ノ性質本來誹
 議ニ屬スヘキモノナルモ其言語文書ヲ用ヅタル人ノ資格又ハ目的如
 何ニ據テ法律ノ之ヲ誹議トシテ問ハス各人皆ナ其言語文書ヲ發スル
 ノ特權アル場合ヲ謂フナリ去レハ其言語文書ノ本質若クハ之ヲ用ヅ
 タル人ノ念慮ヨリ謂ヘハ當然誹議タルヲ免レスト雖レ法律特ニ誹議
 トシテ問ハサルモノヲ謂フコト知ルヘシ

不問誹譏ヲ分テ左ノ二種トス

(甲) 惡意ノ證明ニ據テ法律上誹譏トナル者

(乙) 惡意ノ有無如何ニ拘ラス誹譏トナラサル者

此二種ノ別各由テ來ル所ノ理由ヲ異ニシ又其性質ヲ異ニスルヲ以テ左ニ類ヲ分テ之ヲ論セン

(甲) 惡意ノ證明ニ據テ法律上誹譏トナル者

誹譏ノ定義ヲ講シタル時陳述シタルカ如ク誹譏犯ニハ惡意ノ存在ヲ以テ一ノ要素トナスト雖モ法律ハ通常惡意ノ存在スルモノト推測スルカ故ニ惡意ノ有無ヲ論スルコトヲ許サ、ルナリ去レハ通常誹譏犯ニハ惡意ノ存在ハ豫定シアルモノト知ルヘシ然レモ若シ誹譏者本人自己ノ利害又ハ公益ニ關係アルカ又ハ公私ノ別ナク法律上若クハ德義上ノ義務ヲ盡サンカ爲メニ利害ニ關係アル人ニ對シ通常誹譏ニ涉ル

へキノ言語文書ヲ發シタルキコハ法律ハ通常ノ場合ト反對ノ推測ヲ下シ却テ善意ヲ以テ其言語文書ヲ發シタルモノト推測シテ之ヲ誹譏トシ問ハサルナリ其故ハ斯ル義務ノ關係アル場合マテモ誹譏トシテ法律ニ問フキハ友人間又ハ親子ノ間ニテモ互ニ相戒ムルヲモ出來難クシテ其弊ヤ甚タ大ナレハナリ併シ此場合ト雖モ眞實惡意アルコ於テハ素ヨリ法律ノ保護スル限ニアラス夫レ然リ而シテ法律ハ尙ホ一步進テ誹譏ニ涉ルへキ言語文書ヲ受ケシモノ實際利害相關セサルモ誹譏者本人ニ於テ至當ノ理由ヨリ利害ノ關係アルヲ信シテ其言語文書ヲ發シタルモノナルキハ同シク之ヲ誹譏トシテ問ハサルナリ今此種類ニ屬スル二三ノ場合ヲ示スヘシ

(一) 他人ノ請求ヲ受ケ其請求ニ應シテ請求者ノ利益ヲラント信シテ發シタル言語文書等

譬へハ予ノ是迄使役シタル下女ヲハ某甲雇入レントスルニ當リ
 其行狀品格等ヲ告ケ吳レヨト予ニ請フニ當リ予ハ某甲ノ利益ト
 ナランコトヲ欲シテ頻リニ其下女ヲ罵詈シタルカ爲メニ某甲ハ遂
 ニ之ヲ雇入レサリシ場合ノ如シ是即チ德義上止ムヲ得サルノ義
 務ニシテ苟モ予ニ惡意ノ存セザル以上ハ法律上之ヲ誹譏トシテ
 一問ハサルナリ然レモ予若シ使役中其下女ニ對シテ不品行ナルコ
 トヲ知シタルヲ以テ其下女若シ某甲ニ雇入レラル、キハ必ス予ノ
 常情ヲ物語リ予ヲシテ耻辱ヲ蒙ラシムルナラントノ恐ヲ抱キ不
 實ノ事柄ヲ構へテ其下女ヲ罵詈シタル時ノ如キハ素ヨリ誹譏ヲ
 以テ問ハルヘキナリ且他人ノ請求モナキニ之ヲ罵詈シタルキノ
 如キ又此限ニアラサルヘシ

(二) 技術上ノ批評

譬へハ人ノ著書、圖畫、彫刻物等ヲ批評スルカ如シ斯ノ如キ事柄ハ
世ノ進歩ヲ裨益スルコト大ニシテ法律決シテ誹譏ヲ以テ問フヘカ
ラサルナリ故ニ斯ノ如キ場合ニハ假令誹譏ニ渉ル言語文書ヲ以
テシタルモ法律ハ常ニ善意ヲ以テナシタル批評ト推測スルナリ
然レモ批評者若シ殊更ニ惡意ヲ挾ミテ批評シタルカ又ハ技術家
一身上ノ批評ヲナシタルコト於テハ法律之ヲ不問ニ置カサルナリ
曩キニ時事新報記者カ賣藥ノ事ヲ論シテ賣藥營業者ノ爲メニ訴
ヘラレタル事アリ其社説ヲ讀ミタル人々ハ知ルナラン時事新報
記者カ惡意ヲ挾ミテ斯ル批評ヲナシタリトハ更ニ推測スヘカラ
ス去レハコソ大審院ニ於テハ時事新報記者ノ勝訴トハナレリ
(三) 親戚ノ者配偶者ヲ撰ム場合ニ於テ結婚ヲ妨ケン爲メニ他ノ一
方ノ者ニ就キ發シタル誹譏ノ言語文書

(四) 公ケノ資格上ニ於テ官吏ノコトニ就キ用ヒタル誹譏ノ言語文書

(五) 官吏其職務ヲ行フコ際シ職務ニ關係アル事實取調ノ爲メ發シタル言語文書

是亦同様ニシテ苟モ惡意ノ存在セサル以上ハ誹譏トシテ問ハサルナリ

右ハ管ニ數例ヲ示シタルニ止マルモノニシテ之外ニシテ此種類ニ屬スヘキモノ夥多アリテ一々茲ニ枚舉スルニ遑アラズ諸君只其事件ニ遭遇スル毎ニ能ク之ヲ吟味セハ其不問誹譏タルト否トヲ區別スル蓋シ難キニアラサルヘシ

(乙) 惡意ノ有無如何ニ拘ラス誹譏トナラサル者

此種類ニ屬スヘキモノハ甲種ニ屬スルモノトハ大ニ趣ヲ異ニシテ惡

意ノ有無ヲ問ハス常ニ誹譏トシテ問ハサルナリ然レモ此種類ハ素ヨリ公益ノ爲メニ言論ノ自由ヲ許サ、ルヘカラサルモノニ限ルヲ以テ其場合モ自カラ少ナシ今其重要ナルモノヲ示サン

- (一) 國會議員タル者議場ニ於テ議事ニ關係シ發シタル言語ハ假令人ノ名譽ヲ傷クルカ如キモノナルモ又人ニ損害ヲ蒙ラシムルカ如キモノナルモ又惡意ノ有無如何ヲ問ハス決シテ民事上ノ責任ヲ有スルコトナシ然レモ議場外ニ於テ斯ル言語ヲ發シ若クハ之ヲ出版スルニ於テハ法律ノ保護スル限ニアラサルヘシ尤モ國會議員ニ配布セン爲メニ印行配布シタル議院内ノ言論及手續ノ記事ハ法律ノ保護ヲ受クルモノトス
- (二) 法廷ニ於テ裁判官ノ發シタル言語ハ假令訴訟ニ關係ナク又何等ノ性質ニ屬スルノ言語タルトモ決シテ民事上ノ責任ヲ負擔セ

サルナリ

(三) 證人トシテ法廷ニ呼出サレタルモノ、陳述モ亦同様ニテ其陳

述何等ノ元素ヲ包含スルモ敢テ誹譏ヲ以テ論セス然レモ不實ノ

陳述ヲナシタルモ別ニ制裁アリ

(四) 代言人裁判官ノ命ヲ受ケ法廷ニ於テ發シタル言語若クハ訴訟

ニ關係アル言語文書

以上數種ノモノハ即チ乙種ニ屬スル重要ナルモノナリトス於是乎諸

君ハ誹譏犯ノ大綱ヲ了知シタルモノニシテ之ヲ外ニシテ別ニ注目ス

ヘキノ要點ナキナリ

第二章 詐偽犯

事柄ノ虛妄ナルコトヲ知リナカラ、對手又ハ第三者ヲシテ其虛妄ノ事
柄ヲ信用セシメ、依テ、或ル行爲ヲナサシメンコトヲ希望シツ、對手ニ

向、ヒ、虚、妄、ノ、表、示、ヲ、ナ、シ、タ、ル、ニ、對、手、又、ハ、第、三、者、之、レ、ヲ、信、用、シ、表、示、者、ノ、
企、望、シ、タ、ル、行、爲、ヲ、ナ、シ、損、害、ヲ、受、ク、ル、ニ、至、リ、タ、ル、ハ、其、虚、妄、ノ、表、示、ヲ、
稱、シ、テ、法、律、上、詐、欺、ト、云、フ、例、ハ、甲、者、ア、リ、某、會、社、ノ、株、券、ヲ、有、セ、リ、然、ル、
ニ、該、會、社、ハ、近、來、損、耗、引、續、キ、將、サ、ニ、倒、産、セ、ン、ト、ス、ル、ノ、勢、ア、ル、ニ、因、リ、甲、
者、ハ、乙、者、ヲ、シ、テ、其、所、有、ノ、株、券、ヲ、購、買、セ、シ、メ、ン、コ、ト、ヲ、欲、シ、乙、者、ニ、說、ク、
ニ、該、會、社、ノ、盛、運、ヲ、以、テ、シ、タ、リ、乙、者、ハ、事、實、ヲ、知、ラ、ス、シ、テ、一、ニ、甲、者、ノ、言、
ヲ、信、シ、甲、者、所、有、ノ、株、券、ヲ、購、買、シ、タ、ル、ニ、豈、ニ、圖、ラ、ン、ヤ、會、社、ハ、將、サ、ニ、倒、
産、セ、ン、ト、ス、ル、ノ、有、様、ニ、在、リ、テ、殆、ト、無、價、ノ、モ、ノ、タ、ル、コ、ト、ヲ、發、見、シ、大、ニ、
損、害、ヲ、蒙、リ、タ、ル、カ、如、キ、場、合、ニ、於、テ、ハ、甲、者、ハ、則、チ、對、手、ノ、乙、者、ヲ、シ、テ、其、
虚、妄、ノ、事、柄、ヲ、信、用、セ、シ、メ、依、テ、其、所、有、セ、ル、株、券、ヲ、購、買、セ、シ、メ、ン、コ、ト、ヲ、
希、望、シ、ツ、對、手、ノ、乙、者、ニ、向、ヒ、其、虚、妄、ナ、ル、表、示、ヲ、ナ、シ、タ、ル、ニ、對、手、ノ、乙、
者、ハ、果、シ、テ、之、レ、ヲ、信、用、シ、テ、表、示、者、タ、ル、甲、カ、企、望、シ、タ、ル、通、リ、株、券、ヲ、購、

買シ損耗ヲ招クニ至リタルナリ故ニ甲者ノ表示ハ即チ詐偽ナリトス
 又例ヘハ甲者アリ乙者ヨリ獵銃ヲ購求スルニ際シ今購求セントスル
 獵銃ハ丙者ノ用ニ供セントスルノ目的タル旨ヲ告ケタリシニ乙者ハ
 其旨ヲ承了セリ然ルニ乙者ハ事實危険ナル獵銃タルヲ知リナカラ之
 レヲ提出シテ甲者ニ告クルニ此獵銃ハ製造巧ミニシテ且ツ安全ナル
 コトヲ以テセリ甲者ハ則チ其言ヲ信シテ之レヲ購買シ携ヘ歸テ丙者
 ナシテ該獵銃ヲ使用セシメタルニ豈ニ圖ランヤ忽チニ破裂シテ大ニ
 丙者ヲ傷ケタルカ如キ場合ニ於テハ乙者ハ該獵銃ノ製造巧ミニシテ
 且ツ安全ナルコトノ虛妄ナルヲ知リナカラ對手ノ甲者ニ向ヒ其虛妄
 ノ事柄ヲ表示シタルニ甲者ハ之レヲ信シテ表示者ノ企望シタルカ如
 ク其獵銃ヲ購買セリ第三者タル丙者モ又之レヲ信シテ該獵銃ヲ使用
 シ遂ニ損害ヲ蒙ルニ至リタルナリ故ニ乙者ノナシタル虛妄ノ表示ハ

詐僞トシテ論スルヲ得ヘシ是等ノ場合ニ於テ虚妄ノ表示ノ爲メニ損害ヲ蒙リタル者ハ表示者ニ對シテ損害賠償ノ訴ヘヲ起スコトヲ得ヘキナリ

右陳述シタル詐欺ノ義解及ヒ二三ノ例ニ因テ之レヲ見レハ法律上詐欺ヲ組成スルニハ則チ左次ノ五條件ヲ必要トナスコト甚タ明瞭ナリ

(一)被告ハ事實ニ反對シテ虚妄ノ表示ヲナシタル事(二)被告ハ虚妄ナルコトヲ知リナカラ其表示ヲナシタル事(三)原告ハ被告ノナシタル表示ノ虚妄ナルコトヲ知ラス却テ之レヲ事實ナリト信用シタル事(四)被告ハ原告ヲシテ其表示ヲ信セシメ或ル行爲ヲナサシメントスルノ意思ヲ有シタル事(五)原告ハ被告ノ企望シタル行爲ヲナシ損害ヲ蒙ルニ至リタル事はレナリトス此五條件ニシテ既ニ完備シ原告ニ於テ一々之レヲ證明スルコトヲ得ハ即チ以テ法廷ノ救正ヲ仰グコトヲ得ヘシ今

That the defendant has made a false representation of material facts.

False representation.

此條件ニ付左ニ大略ノ説明ヲナシ以テ詐欺ノ何タルチ一層明瞭ナラシメントス

一 被告ハ事實ニ反對シテ虛妄ノ表示ヲナシタル事

虛妄ノ表示トハ英語ハ「フオールス、レプレゼンテーション」ト云フコトニテ或ハ單ニ僞示トモ譯シ居レリ即チ事實ニ違フタルコトヲ表示シ示スノ意ナリトス眞實ノ事柄ヲ人ニ表示シタリトテ固ヨリ法律ノ問フ所ニアラサルモ事實ニ違フタル事柄ヲ表示スルニ至テハ法律ノ吟味ヲ要スヘシ然レモ其之レヲ表示スルノ方法ハ敢テ言語ヲ以テスルニ限リタル譯ニモアララス舉動ヲ以テスルモ事實ニ違フタルコトヲ表示セハ取りモ直サス僞示タルチ免レサルナリ普通ノ例ヲ舉クレハ信用ノ厚キ商人ノ商票ヲ他人カ擬シテ之レヲ自己ノ賣捌キ居ル劣等ノ物品ニ貼付シ買人ヲ欺キ又競賣場ニ於テ賣品ヲ高價ニ賣拂ハンコトヲ欲

私犯法/奥田義人(講義)；畔上啓策(編輯)

(英吉利法律講義録 (1886 (明治 19) 年度 第 1 年級))

155 ページ以降の講義録 (37 号以降) は非所蔵